



### 黄花の畠から 菜種栽培法(二)

後藤生

1、本圃 稻刈取後麥に準じて整地す  
2、植付 4、植付期 月二拾五日頃より拾一月月上旬迄早遅可  
3、栽培距離 畔巾二尺株間一尺五寸位を標準とし良苗は稍廣く苗の小なるものは狭くす  
4、植付方法 苗床より可成株土を落さざる様掘取同頃の距離に千鳥形に植付く  
5、肥料 反當施肥量  
完熟 三〇元肥 同上三堆肥  
堆肥 三〇元肥 同上三堆肥  
完熟 三〇元肥 同上三堆肥  
堆肥 三〇元肥 同上三堆肥  
完熟 三〇元肥 同上三堆肥  
堆肥 三〇元肥 同上三堆肥

### 頭急迫せ 組合製糸案

#### 下伊那繭糸販賣利用

#### 組合員は此の是非を 検討批判の要あり

謂ふところ 竜丘は一萬四千圓

#### 聯合會の組織

製絲組合合同案は早くよりの理論的理想案としてとなえられ居たが愈々下伊那の組合製絲を合同して「保證責任下伊那繭糸販賣利用組合」なるものを生み出さんとその運動の進展と共に具体化されて來てその組織案が作られた然して龍丘組合の是に對する賛否如何の動きは各方面から注視的となつて居りそれだけに組織内容たるものは對してその組織内容を熟知して是非如何については全組合員一致の行動が重要である聯合會組織に就ての出資金の

#### 青年會 概算報告

龍丘青年會各支部 各支會 會計 概算報告

龍丘青年會各支部並に各支會の本年度會計に就てそれぞれ開ひ合せた結果を發表するに發表のものの中には未だ決算終了に到らないものもありそれについて詳覽されたい

収入の部  
収入合計百參圓九十五錢  
内訳  
金額 適要  
三八圓四錢 會計より  
十三圓四錢 寄附  
四圓八錢 寄附  
六圓五錢 寄附  
六圓五錢 寄附

支出の部  
支出合計百〇參圓三十錢  
内訳  
金額 適要  
一〇圓六錢 講演會費  
五圓六錢 辯論會費  
三圓二錢 研究會費  
一五圓七錢 軍人慰問費  
四圓八錢 軍人慰問費  
一五圓四錢 軍人慰問費  
五圓七錢 雜費  
差引殘金六十五錢也

#### 後半期決算

八圓七九錢協議費  
總計八四圓六五錢  
差引殘高なし

調査部會計報告(概算不明)  
収入の部  
三六圓二〇錢會員負擔金  
三九圓共同勞作取得  
九圓三錢雜收入金  
五圓四錢前年度繰越金  
總計九四圓〇四錢

支出の部  
一〇圓總會費  
四圓五〇錢教育費  
一〇圓二六錢體育部費  
四圓文庫部費  
六圓八一錢營業部費  
一〇圓八二錢經常費完納費  
七圓三〇錢龍丘圖書館費  
八〇錢出席優良班表彰金  
總計一八四圓八錢

上川路支會決算報告(確定)  
前年度繰越金五七圓九二錢  
前半年決算  
收入六五圓九〇錢  
支出六〇圓一〇錢  
差引殘高  
五圓七九錢—後半期繰越金

#### 出席調査

過日龍丘青年訓練所に於て農繁期(前半期)出席調査を行つた結果は全員平均九〇パーセントにしてこれを各年次別各別等に細部に亘りて發表すれば左の如し

年次別調査  
第一年度 八四、〇%  
第二年度 八六、二%  
第三年度 八三、二%  
第四年度 八四、〇%  
別別調査  
第一班七〇% 二班七二%  
第三班八三% 四班八一%  
第五班八八% 以上長ノ原  
第六班七一% 以上時又  
第七班六六% 以上上川路  
第八班九七% 以上上川路  
第九班八一% 以上上川路  
第十班八一% 第十一班四九%  
第十二班八四% 第十三班八三% 第十四班八五% 以上桐林

註出席率の悪い班は二三所員の連續の欠席に起因する尚ほ十二月訓練日程は左の通りなり

十二月日程  
十日 晝間訓練前八時より  
十二日夜學後六時半より  
十四日夜學後六時半より  
十七日晝間訓練前八時より  
十九日夜學後六時半より  
廿一日夜學後六時半より  
註晝間は午前十一時迄  
夜學は午後九時迄とす

#### 竜丘青訓所 前半期

味はよし値段は安し

若木屋菓子店

冬に一番いゝ

ゴム長靴

安くて丈夫な この店

時又 ひやがすに 佐々木靴店

御料理 富士松

電話十五番

●賣れる。賣れる飛ぶ様に賣れる。……博文館日記と新年號雜誌の「久米屋書店」……賣り切れぬうちにお早く……

重大問題を狙上に 産業組合研究會は活躍する 當面の議案三題と討議研究 去る五日の研究會に於て決定

舌端火を吐く 力強き叫び 桐林支會 辯論會 去る十二月三日夜桐林青年會

隊伍堂々村社を一巡して 無火災永續を祈願 龍丘消防組火防宣傳

龍丘製米組合 廿七日頃迄 繰糸續行 龍丘青年會 會計検査

入營兵 御見送御禮 拜啓 初冬の候益々御清榮之

新企 龍丘青年會 年末總會 二十日に開催

妊産婦 無料診断所 龍丘村妊産婦無料診断所は本

人口動態 昭和八年度役場調への人口動

便郵 賀年 豫想は去年と大差なし

酒は喜久水! 伊原商店 昭和九年度日記 新生堂書店

良き嫁に 桐林處女會 良き妻 桐林處女會

龍丘青年會 會計検査 龍丘青年會庶務並に各事業部

龍丘製米組合 繰糸續行 繰糸問題もあつたが龍丘組合

龍丘青年會 會計検査 龍丘青年會庶務並に各事業部

龍丘製米組合 繰糸續行 繰糸問題もあつたが龍丘組合

暗黒な農村の更生を 期して徹底的斷行の 自力更生生活改革案

### 工場の窓より

野村 ち

めつきり寒くなつた、此の頃の朝濃霧の中に氷りついで行く様に鳴りひびいて行く始業のサイレン。

私達の夢は破られてその日の生活の事が、意識するとも一度に様に脳裡をかすめる。

九時休みが来る、晝食時となる、三時の休みも廻つて来る。

毎日々々、この生活の中で、毎時間のくりかえしの中で、糸と棒との間に身を置いて働きのうちに、毎日々々様々な想いのうちに、考へて来る大きな一つは自分のこの生活に對する、はつきり強くなれないしつくりしないさびしさである。

悲喜様々とも云をうか、身をはかなみ、悲しみ、不満で焦心する時と、強いほどにうに自分でも、うれし程強い尊い氣持になれる時と、私の生活の中で毎日くり返す心の波は、こんな弱い、意氣地ない悩みの連続で、自分の生活の中に於ける或るものが未だ清算出来ない悲しみにあふる。

工場の窓から眺める社会はどしどし私を亦私達の様な仲間を置いてけぼりにして進んで行つて了ふ様で、いららしたり、新聞雑誌で女性の様な飛躍を見たりする時、

### 一握りの煎豆

一處 女 會 員

この現在の自分が情けなくも感じたり或る時は、まるで變つたうれし程、高い強い心持、働く女としての、使命を果してゐる一人の女としての尊さに生きる時もある。

糸の値が下落して来て、直接工場生活の私達にはひどい來た。

同じ仕事でその日の賃銀に大きな違いを生じて、こうした事が、また私達の心を腐らせる。

絲價下落は先づ私達の家庭、農家全部へ暗雲を投げ、然も十二月から三月頃迄全体を行ふといふ様な事は、此の多くの私達の様な仲間を、その間失業の中へ落さねばならない愈々不景氣の嵐は恐ろしく吹きまくる。

小さい、可愛い胸に、少女の夢を抱いてゐた、あどけなげな心の亂れる中から。

煎豆を食べるにも人々の性質によつて二つの方法が御座居ます。甲の人は大きなお美味さうな豆から拾つて又その残りの中で一番大きなお美味さうな豆を云ふ風に、終り迄大きなお美味さうな豆を拾つて行くのです。此の人は最後まで大

きなお美味さうな豆を食べずに終るのです。同じ一握りの豆を食べますのにも甲の人は最後まで一つ／＼大きなお美味さうな豆を食つたに、乙の人ははつきり／＼小さいいぢけた豆ばかり食つて云う結果になるのです。同じ一握りの豆を頂くのにさへ其の人々の心の使ひ方一つによつて斯んなに違つた結果を見るのだと思ふ時人間同志が交際して行く裡にも此の心の使ひ方一つで面白く交際して行く事が出来ずし又不愉快にいがみ合つて行かなければならぬ結果にもなるのだと思ひます。

### 昭和八年度水稻多收獲競争會審査成績表

順位	成績	品名	玄米重量	玄米升量	反當玄米	氏名
1	151413121110.98765432	乾燥重	四七〇	三八七	四七〇	坂木林
2	二二二二二二二二二二二二	玄米重	四七〇	三八七	四七〇	坂木林
3	二二二二二二二二二二二二	玄米重	四七〇	三八七	四七〇	坂木林
4	二二二二二二二二二二二二	玄米重	四七〇	三八七	四七〇	坂木林
5	二二二二二二二二二二二二	玄米重	四七〇	三八七	四七〇	坂木林
6	二二二二二二二二二二二二	玄米重	四七〇	三八七	四七〇	坂木林
7	二二二二二二二二二二二二	玄米重	四七〇	三八七	四七〇	坂木林
8	二二二二二二二二二二二二	玄米重	四七〇	三八七	四七〇	坂木林
9	二二二二二二二二二二二二	玄米重	四七〇	三八七	四七〇	坂木林
10	二二二二二二二二二二二二	玄米重	四七〇	三八七	四七〇	坂木林
11	二二二二二二二二二二二二	玄米重	四七〇	三八七	四七〇	坂木林
12	二二二二二二二二二二二二	玄米重	四七〇	三八七	四七〇	坂木林
13	二二二二二二二二二二二二	玄米重	四七〇	三八七	四七〇	坂木林
14	二二二二二二二二二二二二	玄米重	四七〇	三八七	四七〇	坂木林
15	二二二二二二二二二二二二	玄米重	四七〇	三八七	四七〇	坂木林
16	二二二二二二二二二二二二	玄米重	四七〇	三八七	四七〇	坂木林
17	二二二二二二二二二二二二	玄米重	四七〇	三八七	四七〇	坂木林
18	二二二二二二二二二二二二	玄米重	四七〇	三八七	四七〇	坂木林
19	二二二二二二二二二二二二	玄米重	四七〇	三八七	四七〇	坂木林
20	二二二二二二二二二二二二	玄米重	四七〇	三八七	四七〇	坂木林
21	二二二二二二二二二二二二	玄米重	四七〇	三八七	四七〇	坂木林
22	二二二二二二二二二二二二	玄米重	四七〇	三八七	四七〇	坂木林
23	二二二二二二二二二二二二	玄米重	四七〇	三八七	四七〇	坂木林
24	二二二二二二二二二二二二	玄米重	四七〇	三八七	四七〇	坂木林
25	二二二二二二二二二二二二	玄米重	四七〇	三八七	四七〇	坂木林
26	二二二二二二二二二二二二	玄米重	四七〇	三八七	四七〇	坂木林
27	二二二二二二二二二二二二	玄米重	四七〇	三八七	四七〇	坂木林
28	二二二二二二二二二二二二	玄米重	四七〇	三八七	四七〇	坂木林
29	二二二二二二二二二二二二	玄米重	四七〇	三八七	四七〇	坂木林
30	二二二二二二二二二二二二	玄米重	四七〇	三八七	四七〇	坂木林
31	二二二二二二二二二二二二	玄米重	四七〇	三八七	四七〇	坂木林
32	二二二二二二二二二二二二	玄米重	四七〇	三八七	四七〇	坂木林
33	二二二二二二二二二二二二	玄米重	四七〇	三八七	四七〇	坂木林
34	二二二二二二二二二二二二	玄米重	四七〇	三八七	四七〇	坂木林
35	二二二二二二二二二二二二	玄米重	四七〇	三八七	四七〇	坂木林
36	二二二二二二二二二二二二	玄米重	四七〇	三八七	四七〇	坂木林
37	二二二二二二二二二二二二	玄米重	四七〇	三八七	四七〇	坂木林
38	二二二二二二二二二二二二	玄米重	四七〇	三八七	四七〇	坂木林
39	二二二二二二二二二二二二	玄米重	四七〇	三八七	四七〇	坂木林
40	二二二二二二二二二二二二	玄米重	四七〇	三八七	四七〇	坂木林
41	二二二二二二二二二二二二	玄米重	四七〇	三八七	四七〇	坂木林
42	二二二二二二二二二二二二	玄米重	四七〇	三八七	四七〇	坂木林
43	二二二二二二二二二二二二	玄米重	四七〇	三八七	四七〇	坂木林
44	二二二二二二二二二二二二	玄米重	四七〇	三八七	四七〇	坂木林
45	二二二二二二二二二二二二	玄米重	四七〇	三八七	四七〇	坂木林
46	二二二二二二二二二二二二	玄米重	四七〇	三八七	四七〇	坂木林
47	二二二二二二二二二二二二	玄米重	四七〇	三八七	四七〇	坂木林
48	二二二二二二二二二二二二	玄米重	四七〇	三八七	四七〇	坂木林
49	二二二二二二二二二二二二	玄米重	四七〇	三八七	四七〇	坂木林
50	二二二二二二二二二二二二	玄米重	四七〇	三八七	四七〇	坂木林

煙幕に覆はれた戦場の如く非常時氣分益々濃厚なる内に八年度もあはたしく暮れ將に轉機は九年の軌道へ切りかへようとしてゐる。毎日に染まる日記の余白の余りに少なからぬに云ひぬれぬ淋しみを感するふりかへつて來年一年で自分一生に一回の青年の世界におさらばをせなければならぬのを思ふ時、一層の淋しさと云はうか物足りなさを感じ。丘の籠兒時報も創刊以來大いに其の任を果しつた内、容共の他の方面に却つての進歩の色を見せて來たことは喜びに堪へない。特に内容に於て村の時報たる可く一般村民の廣く深く求める所のものを取り入れることがより以上に時報の効果を大ならしめるのてはないかと思ふ。今迄に於ける農繁期には矢張り讀もうとする欲望に對して満足すべき讀書時間が與へられなかつた形があつたが愈々農村にも思存分の讀書時間が與へられ、あつた方面から智識の補給に忙殺される時だ。借りて本を走らして見たいと思ふ。未だかつて原稿がないので不得要なものが出来上

世は正に非常時である。生價の暴落による農民の生活恐怖を第一にあげていふ、繰業短縮、賃銀不拂等々の記事

ち前述の如く側面より眺める者の一人なのだ。爲に兩者の中間に立つて理想をビツクアツする勢で社會一般が科學に對する智識慾がさかになつて來た事は確かである。

即ち科學に對する眞の理解と必要を認めて來た結果ではないかと思ふ。此處に科學の必要と云ふ事は一体どう見ても可き立場にあるのから少し注意して考へて見なければならぬ。東洋に於ける我が國の發達せる科學は大戰以後で最も大きな理由としては今日今後の戰が人類の單なる勇氣を以ての戰でなく科學の戰である事を知らなければならぬ。製造業の途が絶たれた爲めは製造業を國內に求めなければならぬ事だ。

無給であるのに對して余りに矛盾して居るはしないでありませうか。

第二の問題は吏員に對してであるが彼等は月給何程と定まつて居るが然らば當然の如き近距離に於てさへも出張料を得るまた公用旅行に於ても随分インキが行はれてゐる斯うして二重三重の給料を取つてゐる余りにこれに付いて追究すればする程矛盾性が表はれて來るから之れ位にして置かなくてはならぬ。

青年會も亦役員改選期が來て何時もながら下馬評高く、小さい根性を捨て、人選すべし、明年度振不振の岐路にあり。

十二月が來た、寂しい木枯しの吹く歳末、今の世相に伴奏して正に凋落の哀歌なり。

暗轉また暗轉！益々農村に新らしい火の手の上を必要とするの時、若い衆の集りも暗轉、また暗轉！！

青年會も亦役員改選期が來て何時もながら下馬評高く、小さい根性を捨て、人選すべし、明年度振不振の岐路にあり。

科學走馬燈

優生學

ののかも知れないが其の邊は賢明なる諸君の御推定を願ふ。今より二回程に亘つて我々日常生活に於て殊に近代生活に於て大きい力を與へて居る科學に就いて其の動きを側面から見ることにしよう。新しい言葉で云へば近代科學のプログラムと云つて可い。而して科學と云つても非常に廣義にして一朝一夕にして其の概略なりとも記述し難きは勿論。自分は科學者である譯でもない。特殊な其の方面の研究でもない。同時に科學に對して絶對的な大賛成者でもない。即ち

不平無き人間は路傍の石にも劣るとか。時報を重んずる度に社會に向つて惡口雜言を述べて來たが亦今回最後にして世人の反響を期待しつう筆を採つて見る。生活恐怖の國防の危機に非常時日本を背負つて立つべき我々青年は此の不況を如何に心得て居るのであらうか？現在幾分なりとも好調に絲價の要を見居りしはしないでありませうか。抱いて自個の職業に不満を感じ、轉職するものがありとし

年末農村非常時に際し

メチャクチャ

大廉賣大安賣

吉田屋胖物店

年末年始に懸けて

謝恩の大奉仕！

時節向 洋品・化粧品・小間物

時又 吉川屋洋品店

贈答用

御儀用 菓子

時又 藤屋菓子店

電話十七番扱

高島和男

の無い此の農村より少しく意識ある青年は他郷に他識に移り立身出世過去歴史上の大偉人の夢をみて銀握る腕に幾分なりとも意氣の氣を起しはしないでありませうか。中村考助の歌に「一人残らず立身出世したら郷土は誰が作る」と言ふのがあるも一人残らず出世したとすればそれは唯の凡人である。大なる理想を抱いて自個の職業に不満を感じ、轉職するものがありとし

高島和男

の無い此の農村より少しく意識ある青年は他郷に他識に移り立身出世過去歴史上の大偉人の夢をみて銀握る腕に幾分なりとも意氣の氣を起しはしないでありませうか。中村考助の歌に「一人残らず立身出世したら郷土は誰が作る」と言ふのがあるも一人残らず出世したとすればそれは唯の凡人である。大なる理想を抱いて自個の職業に不満を感じ、轉職するものがありとし

高島和男

の無い此の農村より少しく意識ある青年は他郷に他識に移り立身出世過去歴史上の大偉人の夢をみて銀握る腕に幾分なりとも意氣の氣を起しはしないでありませうか。中村考助の歌に「一人残らず立身出世したら郷土は誰が作る」と言ふのがあるも一人残らず出世したとすればそれは唯の凡人である。大なる理想を抱いて自個の職業に不満を感じ、轉職するものがありとし

高島和男

の無い此の農村より少しく意識ある青年は他郷に他識に移り立身出世過去歴史上の大偉人の夢をみて銀握る腕に幾分なりとも意氣の氣を起しはしないでありませうか。中村考助の歌に「一人残らず立身出世したら郷土は誰が作る」と言ふのがあるも一人残らず出世したとすればそれは唯の凡人である。大なる理想を抱いて自個の職業に不満を感じ、轉職するものがありとし

高島和男

の無い此の農村より少しく意識ある青年は他郷に他識に移り立身出世過去歴史上の大偉人の夢をみて銀握る腕に幾分なりとも意氣の氣を起しはしないでありませうか。中村考助の歌に「一人残らず立身出世したら郷土は誰が作る」と言ふのがあるも一人残らず出世したとすればそれは唯の凡人である。大なる理想を抱いて自個の職業に不満を感じ、轉職するものがありとし